

# 令和元年度病虫害発生予察情報 予報第11号（12月）

令和元年12月13日  
発表：福島県病虫害防除所

## 1 野菜・花き

作物名	病虫害名	地方	発生時期	発生量	予報の根拠	防除上注意すべき事項
イチゴ	うどんこ病	全 域	－	やや少ない	発生ほ場割合は、平年よりやや低かった（－）。	多発すると防除が困難になるので、発生初期から薬剤防除を徹底する。
	アブラムシ類	全 域	－	やや少ない	発生ほ場割合は、平年よりやや低かった（－）。	低密度時から薬剤防除を実施する。
	ハダニ類	全 域	－	平年並	発生ほ場割合は、平年並であった（±）が、一部で寄生程度の高いほ場が確認されている。	①低密度時から薬剤防除を実施する。 ②抵抗性の発達が懸念されるので、殺ダニ剤の選択には注意する。 ③カブリダニ等天敵資材を放飼している場合は、天敵に影響の少ない薬剤を選択する。
	コナジラミ類	全 域	－	平年並	発生ほ場割合は、平年並であった（±）。	低密度時から薬剤防除を実施する。

### ○注意が必要な病虫害

イチゴ	<p><b>■アザミウマ類</b></p> <p>巡回調査においては、寄生は確認されませんでした。発生状況をよく確認し、発生が認められる場合には早めに防除してください。</p> <p><b>■土壌病害</b></p> <p>巡回調査では炭疽病の発生を確認しています。発病株および発病が疑われる株は、見つけ次第抜き取り、ほ場外に持ち出すなど適切に処分してください。なお、台風19号等による冠水被害にあったほ場では、土壌病害の発生が懸念されることから、ほ場をよく観察し今後の発生に注意してください。</p>
-----	---

注) 予報の根拠の中で（+）は多発要因、（－）は少発要因、（±）は平年並要因であることを示す。